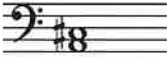


『心変わり』寸評

- ・振幅の大きな心のゆれうごきがきこえてきます
- ・コード付けからもすなおな感性が伝わってくる
- ・m.11-12のモノスゴイもりあがりに心を打たれる
- ・動機を用いた旋律操作、簡潔でかつみごとに効果的
- ・「心変わり」はいい意味では使われない気が 前を向くイメージだけをタイトルとしても理解されるのでは

完成度をさらに上げるために

- ・曲のおわりには終止線を引こう
- ・ダイナミックも演奏表現の指示として超重要 (*f*, *p* 等) 最低でも曲頭に一つ
- ・m.16はフェルマータがあるので全音符でよい
- ・タイトルとあわせて演奏解釈に資する発想標語があると奏者に親切 (ex. 重くなりすぎないで)
- ・3度は低すぎると響きがにごる  ここが限界
- ・さいごがイ長調に終止するのでそのきっかけとなる和音が直前にほしい
- ・m.10-11ドミナント-サブドミナントの連結を避け、続くもりあがりを和音で演出
- ・m.8は区切りの部分なので、ドミナントのコードF#にしても効果がよい

m.=measure 小節番号のことです。

すなおな感性、ドンドン伸ばそう!

持庵 勉